大野市公共交通活性化協議会

平成２０年２月２９日設置
平成２１年３月１９日連携計画策定

概　要

（１）市街地内の病院、スーパー、公共施設等への移動ができるよう、まちなか循環バスの運行
（２）公共交通空白地域の解消を図るため、農村地域での予約・区域運行型乗合タクシーの運行
（３）運行経費の削減を図り、公共交通サービスの向上に充てるため、山間地域を運行する市営バスの予約運行化
（４）利用者に愛される魅力ある列車づくりのための、ＪＲ越美北線ラッピング列車の運行
により地域の公共交通を活性化・再生し､既存の公共交通機関とも連携しつつ交通制約者の日常生活の移動手段を維持・向上させる。

○まちなか循環バスの運行

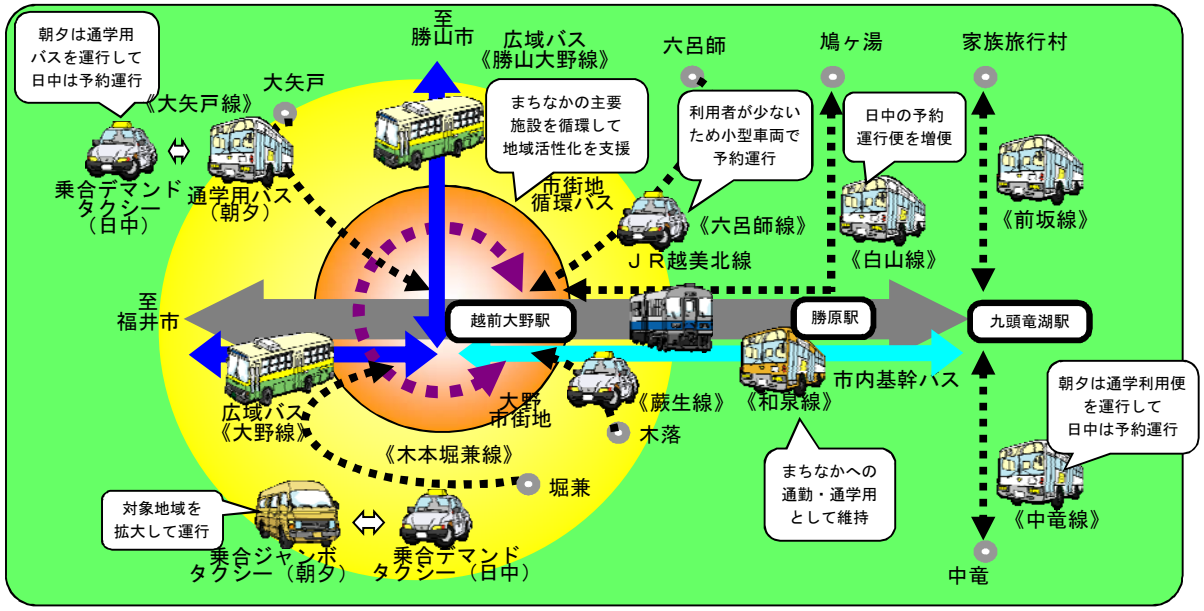
16便/日×南北2ルートで毎日運行。定時で主要施設を回り、JR大野駅で他の公共交通機関へ円滑に乗継ができるようダイヤ設定を行う。

○予約・区域運行型乗合タクシーの運行

農村地域を４区域に分け、4～7便/日で月～土曜に運行。公共交通空白地域を完全に解消するほか、利便性を考慮した乗降場所の設定を行う。

○ＪＲラッピング列車の運行

市民投票で決定したデザインとし、ＪＲ越美北線開業50周年記念事業とともに、利用者に愛される魅力ある列車づくりを行う。

○公共交通利用促進に資する事業

定期的な利用状況の把握や満足度調査、広報チラシ等の配布による公共交通全般の情報提供や意識啓発を実施する。